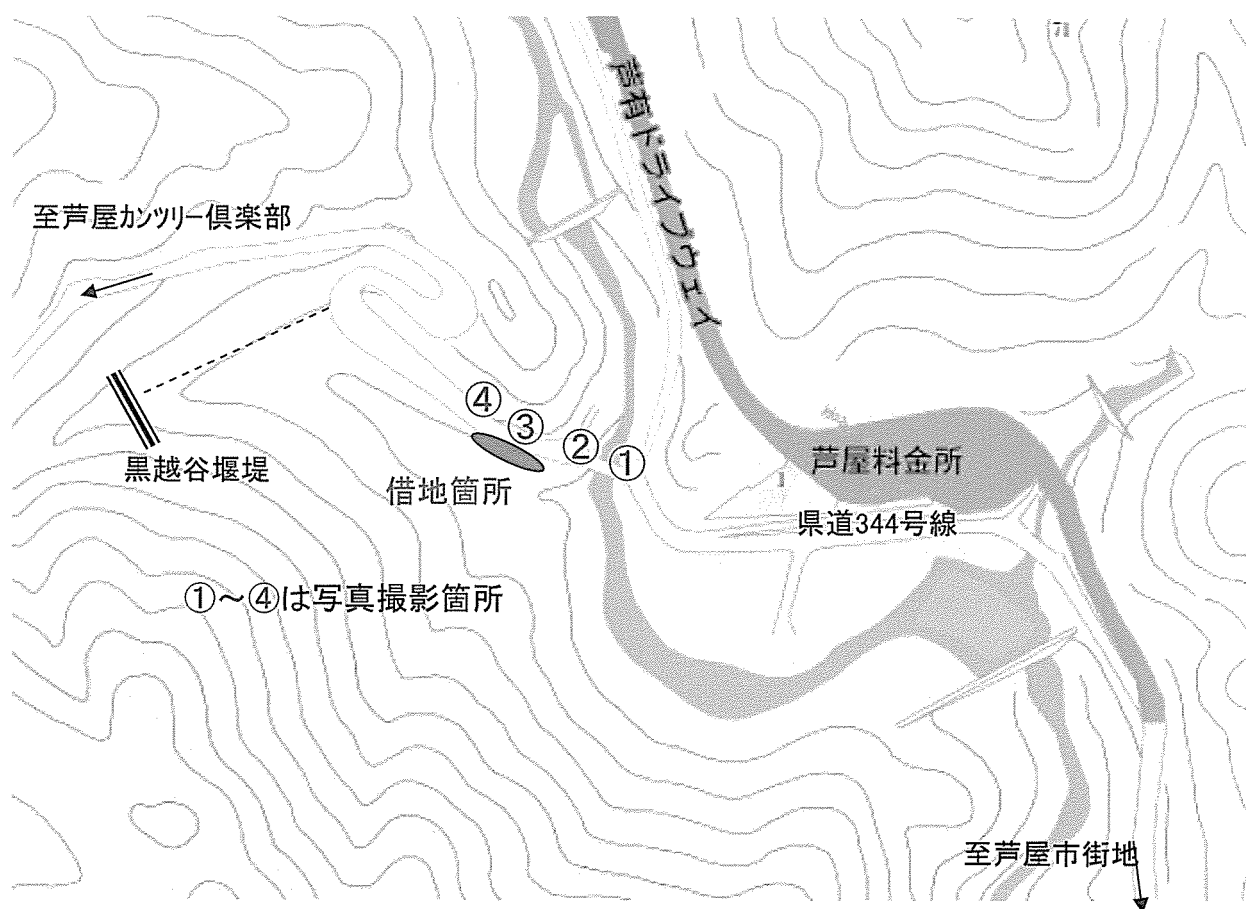


借地に関する工事概要書



工事用車両の頻繁な往来に備え、既設道路狭狭部の拡幅工事を計画している。
拡幅工事期間中(約1.5ヶ月)は一時的に迂回路を設置する必要があり、その土地が
芦屋市財産区所有であり、借地を希望するものである。

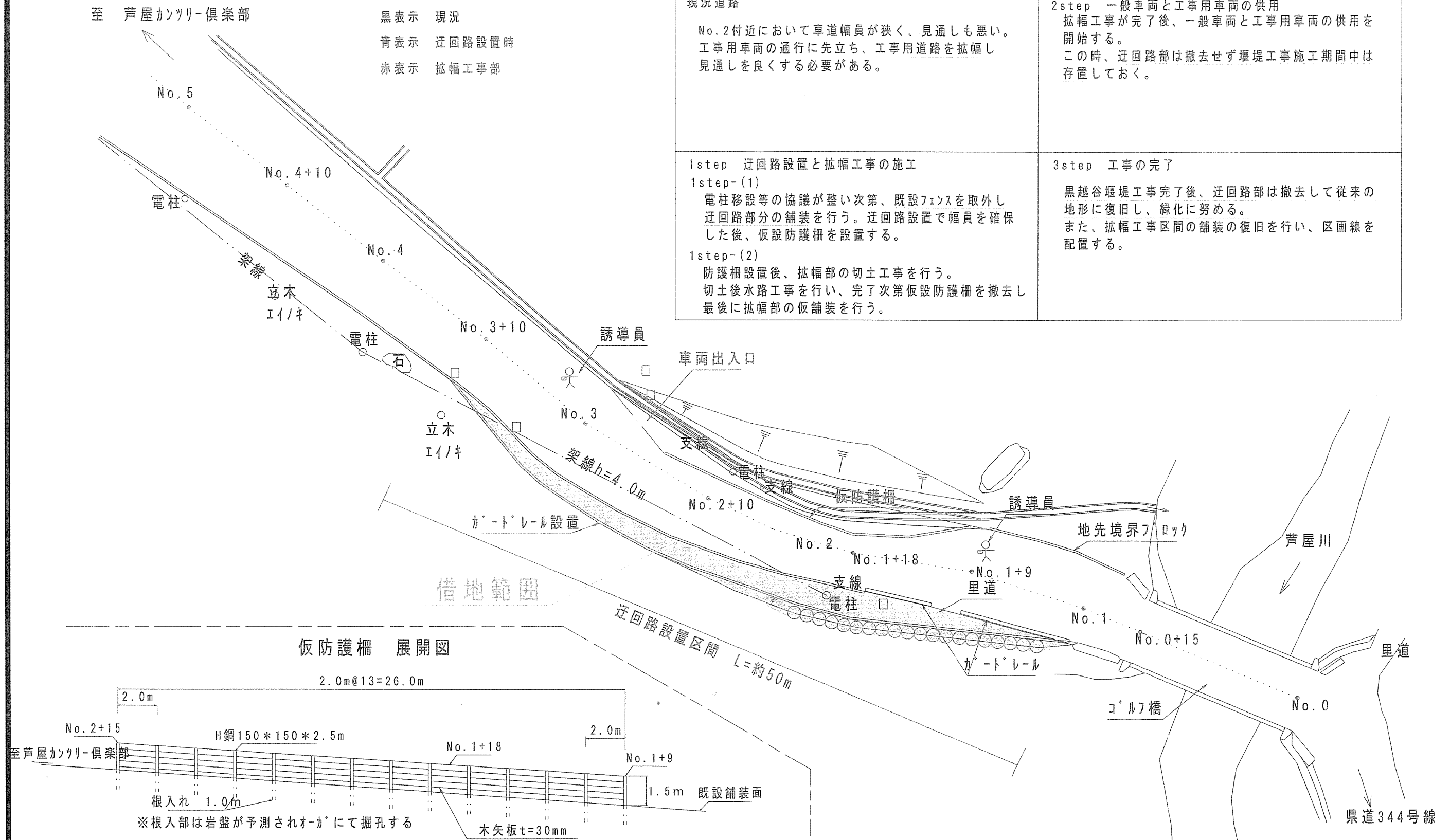
借地期間中は、借地範囲を責任を持って管理し保全に努め、また期間の満了時は
がれき・ごみ等は全て撤去し、丁寧に整形します。

工事名	黒越谷堰堤補強他1件工事
発注者	国土交通省 六甲砂防事務所 東六甲出張所
施工者	池田建設株式会社

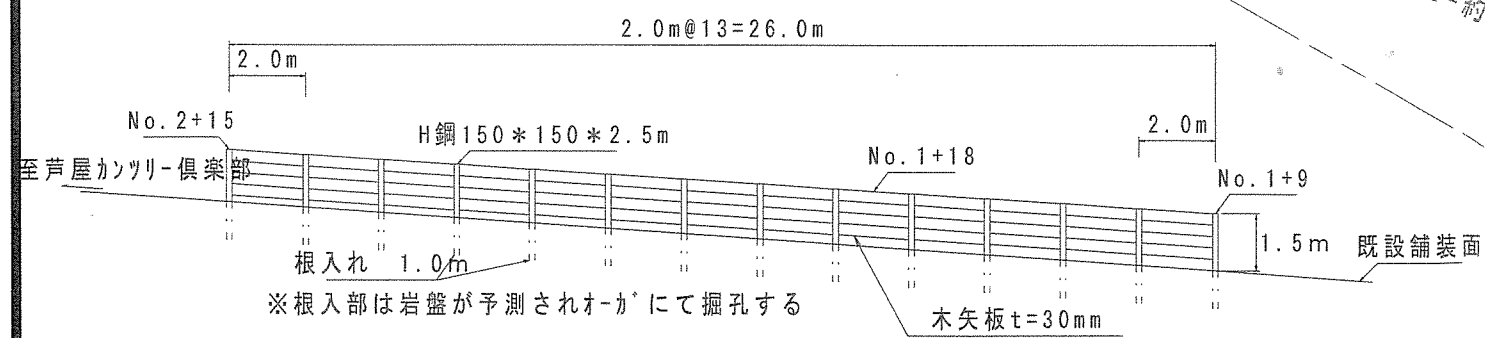
拡幅工事設計平面図

道路拡幅工事の作業手順

<p>現況道路</p> <p>No.2付近において車道幅員が狭く、見通しも悪い。工車用車両の通行に先立ち、工車用道路を拡幅し見通しを良くする必要がある。</p>	<p>2step 一般車両と工車用車両の供用</p> <p>拡幅工事が完了後、一般車両と工車用車両の供用を開始する。この時、迂回路部は撤去せず堰堤工事施工期間中は存置しておく。</p>
<p>1step 迂回路設置と拡幅工事の施工</p> <p>1step-(1) 電柱移設等の協議が整い次第、既設フェンスを外し迂回路部分の舗装を行う。迂回路設置で幅員を確保した後、仮設防護柵を設置する。</p> <p>1step-(2) 防護柵設置後、拡幅部の切土工事を行う。切土後水路工事を行い、完了次第仮設防護柵を撤去し最後に拡幅部の仮舗装を行う。</p>	<p>3step 工事の完了</p> <p>黒越谷堰堤工事完了後、迂回路部は撤去して従来の地形に復旧し、緑化に努める。また、拡幅工事区間の舗装の復旧を行い、区画線を配置する。</p>

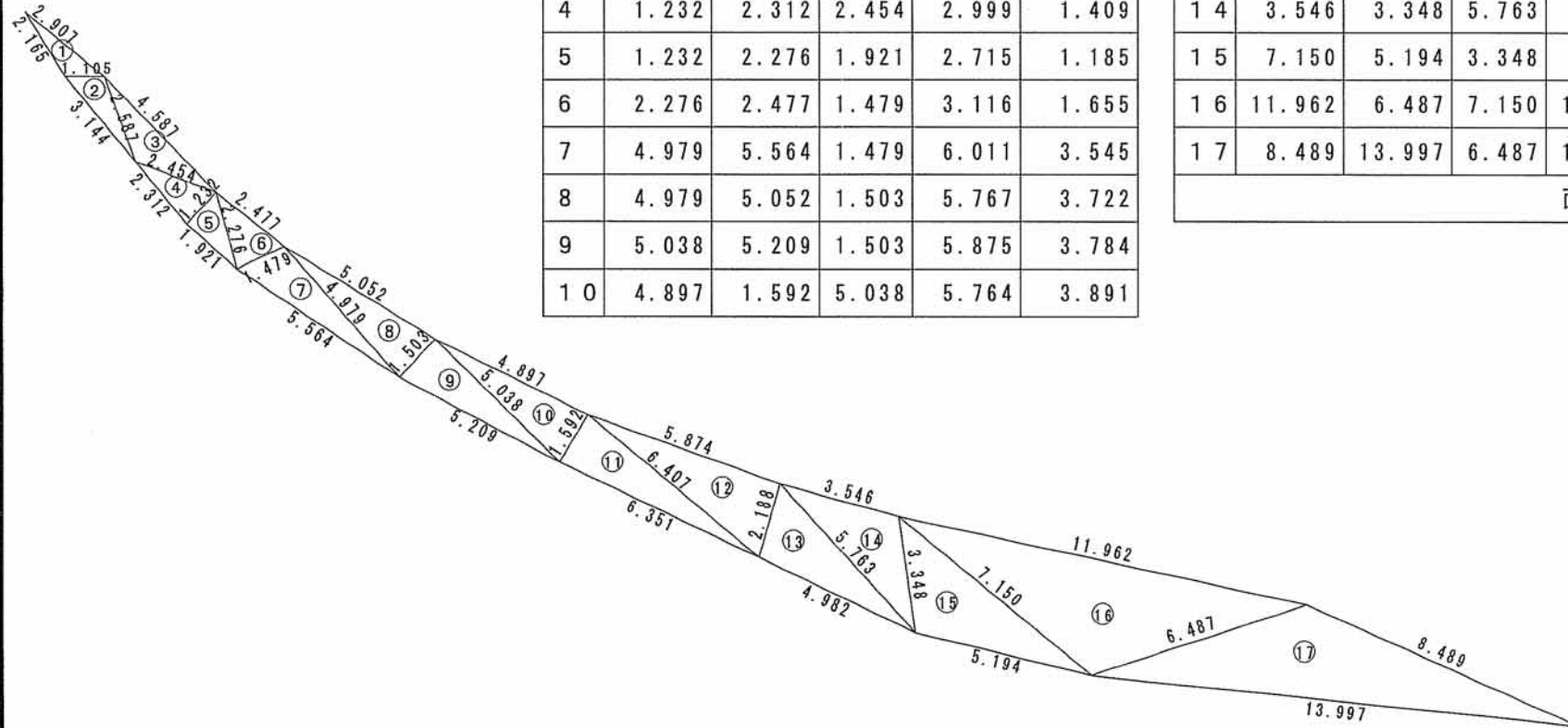


仮防護柵 展開図



借地範圍 面積計算書

S=1:200

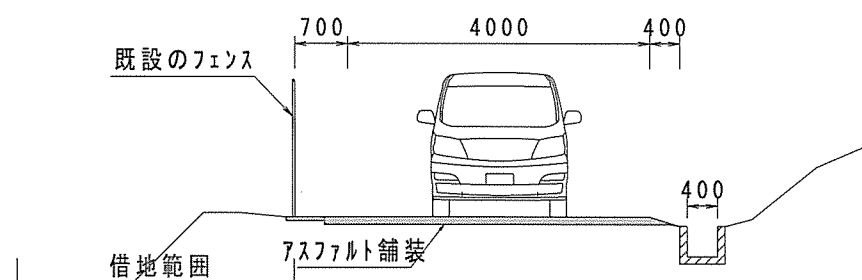


記号	a	b	c	s	面積 m ²
1	2.907	1.105	2.165	3.089	1.015
2	2.587	3.144	1.105	3.418	1.342
3	4.587	2.454	2.587	4.814	2.397
4	1.232	2.312	2.454	2.999	1.409
5	1.232	2.276	1.921	2.715	1.185
6	2.276	2.477	1.479	3.116	1.655
7	4.979	5.564	1.479	6.011	3.545
8	4.979	5.052	1.503	5.767	3.722
9	5.038	5.209	1.503	5.875	3.784
10	4.897	1.592	5.038	5.764	3.891

記号	a	b	c	s	面積 m ²
11	6.407	6.351	1.592	7.175	5.035
12	6.407	5.874	2.188	7.235	6.415
13	5.763	4.982	2.188	6.467	5.379
14	3.546	3.348	5.763	6.329	5.451
15	7.150	5.194	3.348	7.846	8.071
16	11.962	6.487	7.150	12.800	19.560
17	8.489	13.997	6.487	14.487	18.456
面積 m ²					92.312

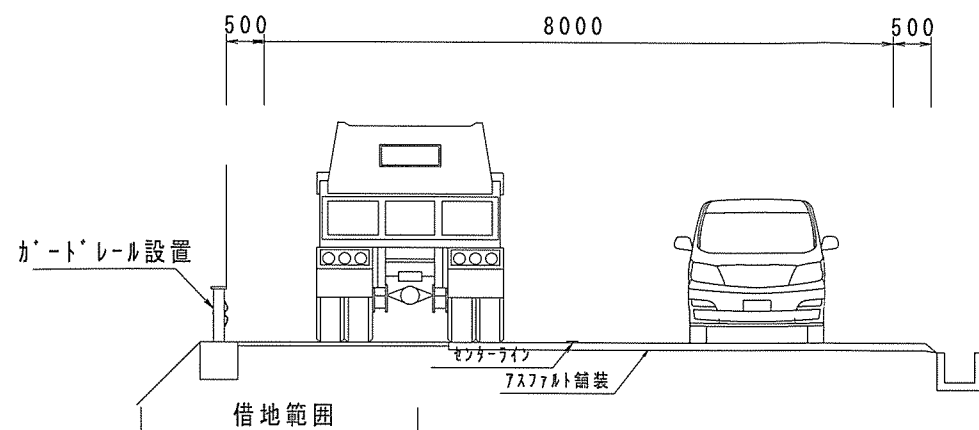
施工ステップ別横断図

現況道路 横断図



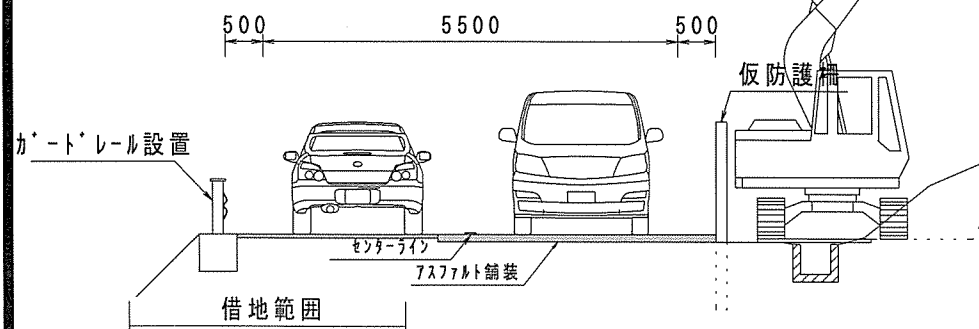
車道幅員が狭く、対面通行ができず、見通しも悪い。
 工事用車両の通行に先立ち、工事用道路を拡幅し
 見通しを良くする必要がある。

2step(供用期間中) 横断図



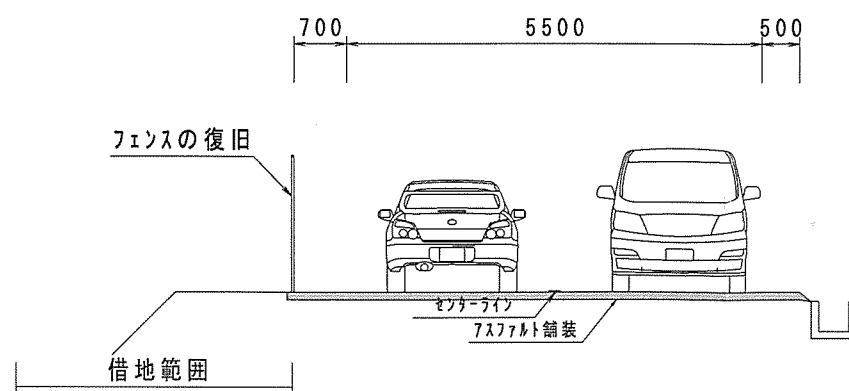
拡幅工事が完了次第、一般車と工事用車両の供用
 を開始する。
 迂回路部は堰堤工事完了時まで存置し、大型車両
 との対面通行も十分行える幅員を確保する。

1step 横断図



- ・ 迂回路の舗装
 既設フェンスを取外し迂回路部分の舗装を行う。
 法肩部はガードレールを設置する。
- ・ 仮防護柵設置
 安全のため、仮防護柵を設置する。
- ・ 私道拡幅部切土
 拡幅部の切土工事と舗装を行う。

3step(工事完了後) 横断図



工事が完了すると、迂回路部は撤去し既存
 のフェンス・看板の復旧を行う。

現況写真

撮影箇所 ① 私道の始まり



撮影箇所 ② 迂廻路の始まり



撮影箇所 ③ 拡幅工事箇所



撮影箇所 ④ 迂廻路の終わり

